



うさぎ組だより 2月



尚徳福祉会 とちょう保育園



寒い日が続いていますが、子ども達の元気な笑い声がお部屋を暖かくしてくれています。ある日の午後、お昼寝から起きた子どもたちが窓の向こうを見て目を輝かせていました。その目線の先には、雪がしんと降り冬らしい景色がありました。いつもならまだ布団が恋しい時間でしたが、珍しい光景に心動かされ、良い目覚めとなったようです。季節の移り変わりをお友だちと感じる、素敵な時間となりました。

今年度も残すところあと2か月を切りました。日々を大切に、今月も楽しく過ごせたらと思います。



「ぼったん!」「はんぶんこ!」



散歩から帰ってきたお部屋では、こんな声が

聞こえます。自分で衣類の着脱をすることに少しずつ慣れてきたうさぎ組のみんな、最近は脱いだ服を「はんぶんこするー!」と自分で畳むことに意欲的な姿を見せる子も増えてきました。保育士のオリジナル寸劇を通して「カッコいい姿」ってどんな姿かな?と考えるきっかけ作りをしていきました。急いでぐちゃぐちゃのまま袋に入れる役の〇〇先生、きれいに畳んで仕舞う役の□□先生、ということもあり、「どう?□□先生みたい?」と確認する声も聞かれました。「ままみたい!」「先生みたい!」「お兄さんお姉さんみたい!」と、それぞれが身近な「カッコいい人」を想像しながら取り組む姿があります。「自分で出来た!」と達成感に満ち溢れた表情はとってもキラキラしています。



もうすぐ節分!

今月は、節分集会があります。うさぎ組では「♪おにのパンツ」「♪まめまき」の歌や、鬼にちなんだ製作を楽しんでいます。新聞紙で作ったお手製の豆を片手に、準備万端のうさぎ組です。

2月の目標

- 自分でやれることの喜びを感じながら、身の回りのことをやってみようとする。
意欲を持つ姿があれば、それを大切にして関わっていきます。
- 遊びを通してルールを理解する。
遊びの簡単なルールを知り、友だちや保育士と一緒に遊ぶことの楽しさを感じられるようにしていきます。

へ〜んしん!



伝承遊び

お正月休みを終え、うさぎ組では伝承遊びを楽しみました。凧揚げ、福笑い、コマなど、手作りのおもちゃでお部屋でも公園でも、お正月を感じながら遊んでいます。手作りのおもちゃだと、どうしても子どもにとって思わぬ瞬間に壊れてしまうことがあります。そんな経験をしていく中で、ちょうど良い力加減を知ったり、物を大切にしようという気持ちが育まれているようです。

うさぎ組では最近、なりきりごっこが流行しています。「えーん」と泣き真似をする子を見つけると、「おまわりさんです。どうしましたか?」と“うさぎ組おまわりさん”が出勤です。「迷子になっちゃったの。」「キャンディー落としちゃったの。」など、困りごとはそれぞれです。おまわりさんはそれを解決しようとあの手この手と頭を働かせています。友だちの思いを知ろうとしたり、助けようと頑張ったり、遊びの中で子どもたちの優しさを沢山感じられます。

